

淀江の個性を どのように考えるか

日時
令和8年

9月19日(土)

14:00 ~ 16:00 (開場 13:30 ~)

会場 米子市淀江文化センター
イベントホール
米子市淀江町西原708-4

参加費
無料

※要事前申込

定員
100名



淀江には、妻木晩田遺跡、向山古墳群、石馬、上淀廃寺と古代の重要遺跡が密集しています。しかし、そういう遠い昔の遺跡だけでなく、いま皆さんが毎日歩いている街並み、眺めている建物や景観のなかに、近世・近代の歴史が刻まれています。先人たちが残した足跡がそこにあると気づけば、いつもの景色が違ってみえてくるはずです。そうした歴史豊かな淀江の魅力について、学んでみませんか。



鳥取県道 172 号淀江停車場線
淀江のまちなみ 昭和・令和

講師 西村 幸夫氏 東京大学名誉教授

東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。工学博士。
明治大学助手、東京大学助教授、教授、同副学長、神戸芸術工科大学教授、國學院大學観光まちづくり学部長などを歴任。現在、東京大学名誉教授、國學院大學名誉教授。専門は都市計画、景観計画、歴史や文化を活かしたまちづくり。
主な著作に『都市から学んだ10のこと』(学芸出版社、2019年)、『県都物語』(有斐閣、2018年)など。



内容 司会進行 佐藤 宏之氏
(東京大学大学院人文社会系研究科・特任研究員、東京大学名誉教授)

- 開会挨拶 松田 陽氏 (東京大学大学院人文社会系研究科・准教授、プロジェクト・リーダー)
- 淀江プロジェクト活動報告 佐藤 宏之氏
- 講演 「淀江の個性をどのように考えるか」 西村 幸夫氏
----- 休憩 -----
- 鼎談 西村 幸夫氏、松田 陽氏、佐古 和枝氏 (関西外国語大学 教授)
- 閉会挨拶 佐藤 宏之氏



松田 陽氏



佐古 和枝氏

申込み方法

電話・FAX・メール等で

- ① 代表者お名前
- ② 代表者ご連絡先電話番号
- ③ 参加希望人数(代表者含む) を添えて
米子市淀江文化センターにお申込みください。

- 電話 0859-39-4050
- FAX 0859-39-4051
- Eメール saname@yonagobunka.net
- メール申込フォーム QR コード

< 開館時間 > 9:00 ~ 22:00
< 休館日 > 毎週水曜日



東大人文・淀江プロジェクトとは

1901年日本の考古学・人類学の草分けと評される坪井正五郎氏(東京帝国大学教授)は淀江町を訪ね、本州唯一の石馬に注目しました。また、長者ヶ平古墳から発見された金銅製冠などの副葬品は、今も東京大学に保管されています。そのような縁もあって、東京大学文学部に、令和4年から当面5年間の予定で立ち上がった淀江研究のプロジェクトです。毎年シンポジウムや講演会を開催し、たくさんの方にご参加いただいています。

主催 東大人文・淀江プロジェクト

[東大問い合わせ先] プロジェクト室(佐藤) ☎03-5841-4046 hsato@l.u-tokyo.ac.jp
事務担当(瀧口) ☎03-5841-4028

共催 米子市、一般財団法人 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]

後援 鳥取県、NPO 法人 むきばんだ応援団、一般社団法人 淀江ロマン遺跡回廊